

東京と福岡

令和5年 4 月



醸造家の夢、時を超えて現代に甦る。



朝倉

あさくら

味と薫りをそのままに、

檜樽熟成『朝倉』

今をさかのぼること100年以上も昔、「アドレナリン」の抽出結晶化に成功したことで「バイオテクノロジーの父」としてアメリカでも著名な高峰謙吉博士。アメリカに渡った博士は、ウイスキー醸造にあたり「モルト」でなく日本の「麴」を使用する方法を実用化しようと考えました。そのおしりさ・効率性には、アメリカの醸造家も関心を寄せていたようですが、結局アメリカの地に「麴」を使用したウイスキー造りが根付くことはありませんでした。

そして、現代。私たちが造る「麴」を使用した檜樽熟成酒は、まさに博士の意志を継ぐものといえます。8年以上熟成した、樽から採って出しの、あの馥郁とした香味を極力損なわずに味わっていた、きたいとの想いから、「朝倉」はあえてリキュールというカテゴリーでお出ししています。



リキュール『朝倉』



■商品の詳細についてのお問い合わせ

福岡あさくらの老舗蔵元 株式会社 篠崎

〒838-1303 福岡県朝倉市北良松185 ☎0946(52)0005

■商品のご注文はこちらまで

蔵元直売店「千の蔵」

☎0120(531)699 FAX 0946(52)1699

※お酒は20歳になってから。※妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。※飲みすぎには十分注意してください。※飲酒運転は法律で禁止されています。

高校よせがきノートの店 新橋

有薫酒蔵

ゆうくんさかぐら

高校よせがきノート(新橋の居酒屋ノート)を
はじめたのは1987年7月4日、
2022年に3267冊になりました。
できるだけ長く続けたいと思っています。

新橋有薫ホームページ

<http://www.shinbashi-yukun.com>

高校よせがきノート ホームページ

<http://koukou-yosegaki.com>

松永洋子ブログ “おかみの日々徒然”

<http://blog.shinbashi-yukun.com>

東京都港区新橋1-16-4 リソな銀行地階

03-3508-9296

休業日 日曜・祝日・月曜

有明海・玄海の珍しい魚介類を毎日空輸。
九州の産品にこだわって、
数々のメニューでおもてなし、
家庭的雰囲気の中、親子で皆様のお越しを
お待ちしております。

九州郷土料理

赤坂 有薫

AKASAKA YUKUN

〒100-0014

東京都千代田区永田町 2-14-3 東急プラザ赤坂 3F

電話 03 (3592) 0393 (代)

店主 高山喜一郎 (昭42年 明善高校卒)

<http://www.akasakayukun.com>

E-mail yu-kun@dmil.plala.or.jp

北京有薫「一心」

五道口店・北京師範大店・経貿店・建外店も宜しく

郷土の先達

(題字 山本卓眞元会長筆)

坂田九十百は、明治三十一年(一八九八)十一月一日に、父瀧次郎、母ユキノの次男として、鞍手郡西川村(現鞍手町)新延に生まれ、新延尋常小学校に進んだ。父親は小作農で、ただ働くことが生きがいの正直者。母は気丈で男勝りであった。

筑豊が石炭王国となったのは、明治二十年代から三十年代にかけて三菱、三井などの大手資本が進出してからで、日露戦争後の三十九年には、全国出炭量の四十七パーセントを占めた。石炭は五平太と呼ばれた石炭荷船を使って遠賀川を下って運ばれ、川筋には船頭たちの「川筋気質」と呼ばれた気は荒いが淡泊、義理と人情に厚い独特な気風が生まれた。

坂田も負けん気、喧嘩好き、相撲が強く面構えもいっぱしの川筋男に育っていった。大正十年(一九二一)、二十三歳の時に田川郡川崎村のスミノと結婚。職業は、炭鉱の労務担当、用心棒、水商売、石炭商、炭鉱の鉱長、炭鉱経営者と変わっていったが、四十三歳の時に後藤寺町議員となった。



昭和十八年(一九四三)に、後藤寺町と伊田町は合併し、筑豊では直方、飯塚に次ぐ三番目の市として、炭鉱都市田川市が誕生。坂田は市議、社会党支部書記長

180

坂田 九十百

― 郷土に生き、
― 郷土に尽くした田川市長 ―

を経て、県議員を二期務めたが自治体の予算編成や監査委員として活躍した。現地に足を運んで目で確かめ、人の話に耳を傾け、実地に解決していくのが坂田のやり方であった。

戦後になり石炭供給統制は終わり、自由競争・淘汰の時代へ。二十五年からの朝鮮戦争特需に沸いた石炭業界も二年後には下火になる中で、外国炭輸入と重油への転換が始まっていた。筑豊の各炭鉱では、鉱山の休廃止による人員整理、解雇が始まった。県議会では現状打開のための委員会が設置された。委員長になった坂田が上京し緒方竹虎副総理に陳情した結果、炭鉱、失業対策などで十九億円が福岡県に回された。

五十六歳で四代目田川市長となった三十年に石炭合理化法が施行。長年にわたる採掘や戦後の乱掘により筑豊の鉱山は傷んでおり、重油に比べて割高となっていたので閉山ラッシュとなった。坂田は、全国鉱業市町村連合会会長として田川始め産炭地の深刻な窮状を「なによりもまず現地を見てください」と政府に訴え続けた。運動の結果「炭鉱離職者臨時措置法」が施行され、失業者の就職支援や職業訓練が実施された。エネルギー革命という世界的現象の前に、政府は重油とコストで競合できる高能率炭鉱に生産を集中するように指導した。炭鉱での相次ぐ大事故の発生もあり、中小から大手へと閉山の波は大きくなったので、失業者の増大という大嵐が吹き荒れた。

坂田が不沈、不滅と疑わなかった田川市の親柱である三井鉱山田川鉱は、三十八年には規模を縮小して第二会社へ移行し、五年後にはこれも閉山に至った。この頃の坂田が口ずさんだのは村田英雄の『王将』の替え歌であった。「明日は東京に出ていくからは、何がなんでも取らねばならぬ。空に聳えるあのボタ山に、俺の闘志は火と燃える」。坂田が上京するのは疲弊した田川市民の糧になるものを、眼に見える形で東京から持ち帰ることだったので、池田勇人首相にたばこライター工場の田川市誘致を約束させた。

三十八年に市長三選を果たした坂田の抱負は、これからの田川市は衣料縫製と石灰化学、菓子製造中心に開発を進め完全雇用を図るというものであった。四選後、亀井光知事らと共に佐藤栄作首相を訪れた際「石炭産業百年の後始末は国の責任でやってほしい」と直訴した。

「月が出た出た」で全国に知られる『炭坑節』の碑が市役所の前に建ったのは四十二年。この碑の裏には「炭坑節」は明治末ごろ田川の炭鉱女性労働者の間に生まれた」と刻まれている。また市長室には重さ六十キロの石炭が飾られていた。

市長を六期務めたことにより、退職金・功労金七千九百万を支給されたが、県内の学生の奨学金とすべく自ら設立した「財団法人坂田育英会」基金としてすべて寄付した。

坂田は、田川市初の名誉市民称号を贈られ、昭和五十八年(一九八三)六月十三日に亡くなった。享年八十四歳。田川文化センターで行われた市葬には、千八百人も人が参列し故人の遺徳をしのんだ。

参考資料 『炭鉱最後の田川市長 坂田九十百という男』

(宮田照著・書肆侃侃房)

写真提供 右参考資料

執筆者 牛島 康明(編集委員長)

プロレスラー（自称福岡の有名な人）

ばってん×ぶらぶら 氏

Batten × Burabura

プロレスで九州は 元気にするバイ!

PROFILE

1979年 筑紫野市出身
 1992年 筑紫野市立山口小学校卒業
 1995年 筑紫野市立天拝中学校卒業
 1998年 福岡県立筑紫中央高等学校卒業
 2003年 福岡大学人文学部文化学科卒業
 現 在 NPO法人九州プロレス所属

福岡大学在学中に越境で九州産業大学プロレス研究部に入り、リングネーム「桂三枝郎」として学生プロレスを始める。上京し「ばってん多摩川」の名でお笑い芸人として活動しながら、西口プロレスと西口ドアにてプロレス活動を継続。2014年1月、福岡に帰郷し九州プロレスへ入団。リングネームを「ばってん×ぶらぶら」とする。実家の農業を手伝いながら活動中。



自己紹介

私、自称福岡の有名な人。ばってん×ぶらぶらと申しまして、NPO法人九州プロレス所属のプロレスラーです。博多銘菓「博多ぶらぶら」を販売している「博多菓匠 左衛門」の公認キャラクターを務めております。二〇二二年の東京初進出をきっかけに、全国へ向けて「九州は元気にするバイ！」をキャッチコピーとし、九州・福岡からプロレスを発信しています。

筑紫野市の出身です

筑紫野市の中でも、超ド田舎の出身なんです。山口小学校に通ってました。僕が住んでいたのは小さな集落。自分が一番年上で年下の子たちの面倒を見ながら、川や山という自然の中で遊ぶしかなかったのですが…。農耕民族の血が流れていますし、そうやって体力が付いていったのだと思うんです。家では大人しいですが、学校に行くときと明るく振舞い、面白おかしいことをやったり、児童会長をやったりしていましたね。

天拝中学校

山口小学校（田舎）と二日市小学校（都会）の生徒が一緒になるのが、天拝中学校でした。これまでいなかったヤンキーなんかも現れるわけです。そこで面白いことをやって、強面の人間や先輩に舐められないように立場を作り上げる。それが僕の武器でした。今のやり方に近いかもしれませんね。対社長とか、対先輩レスラーとか（笑）。

プロレスと出会ったのは、中学二年生のとき。当時流行ったファミコンがきっかけで、プロレスの存在を知り、

めちゃくちゃはまり込みました。今と違ってガリガリに痩せていたのですが「中学卒業と同時にプロレスラーになるろう！」と頑張ってたくらいです。

筑紫中央高校へ

当たり前ですが「とにかく高校にだけは行ってくれ」とプロレスラーへの道を親に大反対されました。仕方なく高校受験をし、武田鉄矢さん、フジテレビアナウンサーの生野陽子さんなどを輩出している筑紫中央高校へ進みます。

柔道部に入りました。しかし、三年生に男子部員が二人在籍していただけで、夏の大会で引退。結局男は僕たった一人となりました。女子は五人いましたので、それを相手に毎日得意になつてやつつけていました。ところが大会に出て男性と闘ってみると、僕は黒帯（上段者）なのに、白帯（初心者）の人に負けてしまうほど弱かったのです。

顧問の先生が日体大のレスリング部出身で、とにかく投げられて鍛えられ、そのときに受け身を学んだのです。そこで培ったものが、今のプロレスに生きてくるんですよ。

自分で言うのもなんですが、クラスの人気者でした。全校集会で先生のモノマネをしたり、他にも面白いことを多くやったりして。それで勘違いしてしまっただけです。今度は「高卒で芸人になろう！」と思うようになったのです。

福岡大学へ

しかし、またもや親の大反対にあい、大学へ行くことにしました。やはり田

舎ですからね。大人は周りの目や世間体が気になり、安定を求めます。しかし、今では大学まで行かせてくれたことに本当に感謝しています。

福岡大学に入学するも、九州産業大学のプロレス研究部に入らんです。当時、日本で唯一の部活だったので、越境ですが特別に入れてもらいました。福岡大で授業が終わったら、九産大へ練習に。

実家の軽トラで：筑紫野の実家↓福大↓九産大↓筑紫野の実家：このトライアングルを数えられないほど走りまわりました。オヤジに言われましたもん「なんでこえん走行距離のあるとや!」って。さらには事故を起こし、その軽トラを二回も廃車にしてしまい、親にえらい怒られました。

一度はサラリーマンをしていたんですが：

意外に思われるかもしれませんが、大学を卒業してすぐにプロレスラーになったわけではないのです。一度福岡の番組製作会社に入り、五年働きました。しかし結局芸人を目指し、九産大のプロレス研究部の先輩を頼って、高校の同級生と二人で上京しました。

代官山にある飲食店でお世話になり、住み込みで働きました。昼はランチ、夜も営業。芸人を目指していたのに本末転倒。気持ちを切り替え、芸人がプロレスをする団体「西口プロレス」の門を叩くことを決心。所属レスラーで皆さんがよくご存じなのは長州小力さんでしょうか。

僕が入ってみてわかったのは、プロレスを好きな芸人が集まっているだけで、プロレスが上手なわけではないん

です。その点、僕は高校で柔道を習い、九産大のプロレス研究部では本格的にプロレスをやっていたので、西口プロレスの中での僕のポジションは「プロレスができる人」「プロレスが強い人」でした。

しかし、本格的なプロレス団体の試合に出ると、「弱い」「ヘタレ」な存在へと変わりました。

芸人とプロレスを諦め帰郷

芸人も諦めていなかったんです。しかし現実には厳しく鳴かず飛ばず。そして東京という地ですら、プロレスを専業として食べていける人は一握りの人間だけでした。

それを目の当たりにし、結局「福岡の実家に帰り、就職して、働きながら趣味程度にプロレスができればいいやあ」と、東京での成功を諦め帰郷。上京して五年ほどでした。そんなときに九州プロレス代表の筑前りょう太に「あんたに入って欲しいとよ!」と声をかけられたんです。

NPO法人九州プロレスとは

何回も断ったんです。「東京でもできないのに、地方の福岡でプロレスで食っていくことができるわけがない」と思っていたから。しかし、しつこいくらい誘われて、結局入っちゃいました(笑)。

「プロレス団体を普通の会社みたいにしよう!」と、代表の筑前による、毎朝九時の朝礼から始まる様々な取り組みの結果、現在僕たちはプロレスで生活することができています。企業様から協賛をいただいて、無料で九州全土のいろいろな場所に出向き、自分達のカラダを使った慰問活動を行っています。皆さんに「元氣と笑顔を届けます」なんて言っていますが、こちらの方が元氣と笑顔をもたらしていますよ。

プロレス? 危ないですよ

危ない、危ない。鍛えていないと怪我をします。実は四十歳になって首を怪我してしまい、一年以上休んでいました。復帰してからは、しっかり鍛えています。しかしながら、僕は「練習をしてないキャラ」で売っているの、

大っぴらには「イメージトレーニング」ということにしています(笑)。

声に自信があります

以前より「声がいいね」というお褒めの言葉をいただくことが多かったです。それで思い切って、北九州市門司区出身の米岡誠一さんの会社「パイNZ」に所属することにしました。地味ですがコツコツとナレーションのレッスンを受け、今では少しずつではあります、声の仕事が増えてきました。そちらの方も皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

将来の夢は、じいちゃんばあちゃんやっていた農業、その先祖代々の土地や仕事を守りたいという気持ちがあります。漠然とした考えではあります。この自分の「ばってん×ぶらぶら」というキャラを生かして、将来的に「ばってん農園」なんて名付けて、みんなで田植えをしたり…。多くの方と交流ができる農業をやっていたらと考えています。

県人会の皆さんへメッセージ

東京に出たからわかるのですが、知り合ったらまず「どこ中?」と聞く縄張り意識。東京で「九州出身」や「福岡出身」同士が集まると絶対「おおおおお!」となります。離れて初めてわかる故郷の良さ。改めて九州・福岡は僕にとつて大切な場所なんだと思いました。

「ばってんな世の中ですが、皆さん笑顔と元気でいてください。笑顔と元気でいなさや、はい、ばってん!」

インタビュアー 小倉 文子

(編集委員)



柳川興行時、空いた時間に川下り



上:保育園への慰問風景
下:老人ホームにて、みんな元気に「はい!ばってん!」



はぎ お たくろう
萩尾 拓朗
(太宰府市)

愛する故郷太宰府

私は、「令和」の由来となった和歌が詠まれたゆかりの地坂本八幡宮、学問の神様菅原道真公がお祀りされている太宰府天満宮、映画「鬼滅の刃」の聖地と言われる籠神社などがあり、歴史と文化にあふれる町太宰府の出身です。萩尾家の先祖は、この地にゆかりがあり、あの岩屋城の戦いで有名な、戦国時代の武将であった高橋紹運に仕えていたと祖父から聞いた事がありました。自然豊かでもあるこの地で、幼少の頃は、家の近くを流れる御笠川での川遊びや、観世音寺の境内にあった小さな池で、いりこを付けた糸を垂らしてザリガニを釣って遊んでいました。

フ、夏は富士登山をやっています。入会してすぐに、「皇居を走ろう!! 同好会」に申込み、既に三度定例会に参加させていただきました。また三月には、つづら会同好会にもお誘いいただいております。今後、色々な方達と交流を深めていければと思っています。

現在は、ECサイトにて健康商品販売する仕事をしています。メインは、「セルピュア」という酸素商品で、呼吸からほとんど摂取することが出来ない溶解型酸素というものに位置づけられるものです。溶解型酸素は血液中に溶け込んだ酸素で、直径0・35nm(ナノメートル)と極小。人間の血管の95%を占める毛細血管よりも小さいので、全ての細胞に行き渡り、老廃物回収、血流促進、免疫向上、代謝UPなど、体の機能を向上させ、純粋な健康状態へ導くものです。詳しくは、QRコードより情報をご覧ください。ご興味があれば一度ご覧ください。今後ともよろしくお願いいたします。

<https://yuniwa.base.shop/>



あのひとこのひと No.195



み す み な ほ
三ツ矢 奈穂
(中津市)

あたたかいまち福岡

私の出身は大分県中津市ですが、福岡県は生活圏で、大切な用事があるときはいつも福岡にお世話になっていました。両親の勤務地が吉富町で、親戚が久留米市に住んでいたり、予備校は小倉、友人とのショッピングはたいいてい小倉か天神へ向うき、習い事も福岡市内に通っていました。福岡は常に身近な存在であり、かつ憧れのまちでした。

そんな中、約三年前、転職を機に福岡生活をするようになりました。しかしながら、福岡市内での生活がスタートすると間もなく新型コロナウイルスの影響で外出がほとんどできなくなり、自宅と職場との往復生活が始まりました。そして、約二年が経過し、ようやく自由に外出ができるようになるかなと思った矢先、東京への転勤が決まり、今に至りません。

福岡市内での生活は短いものでし

たが、たくさんの方の友人や仲間巡りにあうことができ、私にとって福岡はとてもあたたかな場所です。

おかげさまで、今は東京での新生活を満喫していますが、福岡で出会った仲間や体験があったおかげです。私自身、まさか東京生活をする事になるなんて思っていませんでしたが、福岡の地での縁を大切に、いられる場所で精一杯楽しむことを学び、これを意識するだけで体験の質が上がっていると思います。東京でも仕事三昧ですが、いろんな場所を訪れ、たくさんの方にお会いし、様々な体験をしてワクワクして過ごしていきたいと思っています。

福岡のことを考えていると、久しぶりに豚骨ラーメンや新鮮なお魚が食べたくなってきました。

福岡や九州は食べ物がおいしく、何よりあたたかい方が多く、そんな故郷を誇りに思っています。



総 合

県政だより

福岡県の伝統工芸品の魅力を発信する
アクロス福岡「匠ギャラリー」がリニューアルオープン！

県の伝統工芸品の魅力を幅広い世代の方に伝える「匠ギャラリー」が令和5年3月26日（日）にリニューアルオープンした。

今回新たに設置するカフェでは、地域の食材を伝統工芸品の器で提供するほか、ショップでは、伝統工芸品をはじめとする福岡・九州のものづくり商品を紹介・販売するなど、誰もが気軽に伝統工芸品を見て、触れることができる場となっている。

2階では「ひもとき展示」として、伝統工芸品の歴史や特徴を、実物や映像でわかりやすく解説している。

また、ギャラリーでは、伝統工芸品の常設展示を行っているほか、伝統工芸などに係る様々な企画展示が行われる。

福岡県の伝統工芸品の魅力が詰まった「匠ギャラリー」にぜひお越しいただきたい。

○施設内容

【1階】・ギャラリー1

- ・カフェ「&LOCALS（アンドローカルズ）」
- ・ショップ「うなぎの寝床」

【2階】・ギャラリー2

- ・ひもとき展示

営業時間：10時～19時（定休日：火曜（1階のみ））



福岡県文化振興課 TEL：092-643-3382
（公財）アクロス福岡 TEL：092-725-9101

以下9ページまでの記事は西日本新聞社のご厚意により許可を得て転載しています。3月8日までの記事から抜粋。

九州⇄本州 気軽に行こか

JR西の交通系IC、4月から定期サービス拡大

JR西日本は4月1日から、ICカード「ICOCA（イコカ）」を使った定期券のサービスを拡大する。九州方面との通勤・通学の利便性向上を図るため、JR九州の「SUGOCA（スゴカ）」管内にまたがる区間でも、イコカによる在来線IC定期券の運用を開始。山陽新幹線の新大阪～新岩国間で扱ってきた新幹線IC定期券については、対象を全区間（新大阪

～博多間）に広げる。

両社の管内をまたぐ在来線IC定期は、300*以内の区間が対象。これまでは、例えば九州在住者が在来線で本州に通勤・通学する際、JR九州のIC定期券とJR西日本の磁気定期券を持つ必要があった。今後はこうした煩わしさが解消される。

在来線IC定期で山陽新幹線に乗れる「新幹線乗車サービス」も全線に拡大する。小倉～博多間など山陽新幹線の2駅以上を含む区間であれば、在来線定期でも乗車可能。新幹線特急料金はICカードの残高から引き落とされる。

今月末の福岡市地下鉄七隈線の延伸も見据えたサービス拡大。「新幹線乗車サービス」は、スゴカや福岡市交通局のICカード「はやかけん」の在来線定期でも利用できる。JR西日本の担当者は「通勤・通学の利便性が増し、地下鉄沿線の企業にも人材確保などでメリットがある」と期待する。

北九州市に障害者就労支援の場

福岡県3カ所目、複数施設利用者が共同作業

福岡県は2023年度、複数の障害者施設の通所者が共同で働くことができる県内3カ所目の「就労支援の場」を北九州市内に開設する方針を決めた。昨年6月に県内2カ所の就労支援施設内に開設したところ、共同作業によって大量の仕事の受注が可能となり、障害者の収入向上につながったという。こうした場を増やし、県全体で障害者の賃金の底上げを目指す考えだ。

昨年オープンした就労支援の場は、県障がい者就労支援ホーム「あけぼの園」（大野城市）と障害者就労・自立支援センター「たんぽぽ」（大牟田市）。それぞれ近隣の5施設から30～40人が集まり、国立国会図書館の蔵書デジタル化事業に取り組んでいる。県が、障害者の就労支援に関する協定を結んでいた日本財団に事業を委託し、実現した県独自の試みだ。

北九州空港滑走路延伸、事業化手続きへ

大型貨物輸送機が就航可能に

国土交通省は2月28日、北九州空港（北九州市、荻田町）の滑走路を現在の2500*から3千*へ延伸する事業の2023年度開始に向け、予算計上を前提とした新規事業採択時評価の手続きを始めると発表した。3月上旬にも開かれる有識者会議などを経て、23年度当初予算に設計関連費が計上される見込み。

北九州空港は九州、中四国で唯一、24時間離着陸が可能だが、大量の燃料を積んだ大型貨物輸送機が離陸するには滑走路が短かった。延伸により、長距離飛行が可能な機体が就航でき、国際物流拠点化に近づく。

北九州地区

五輪王者の技にほれば

若松区で内村航平さんが体操指導

体操個人総合で五輪2連覇を果たした元プロ体操選手、内村航平さん(34)の体操教室が2月28日夜、北九州市若松区の若松体育館であった。体操経験を問わず、区内の小学生約100人が参加。内村さんは「体操やスポーツに関心を持ってもらい、未来のオリンピックが生まれるきっかけになれば」と話した。

若松ボートの開設70周年記念の一環で、北九州市が主催。同市生まれでスポーツ大使を務める内村さんを招いた。内村さんは児童と一緒に体をほぐして教室を開始。後転では手がマットについたらしっかり押すなど、美しく回るための基本動作を実演を交えて説明。児童の実技では体を支えるなどして指導した。

内村さんは「みんな上手で、もっと見たかった」と感心。「体操はいろいろな競技の基本になる」と子どもたちに語りかけた。ひびきの小3年の岩崎湊祐さん(9)は「内村選手と話せてうれしい。体操を試してみたくなった」と笑顔で話した。

北九州・平尾台で春を告げる野焼き

炎の後に「羊群原」

北九州市小倉南区などに広がる国内有数のカルスト台地「平尾台」で3月5日、野焼きがあった。黄土色の台地を幾筋もの炎が駆け抜けて行った後に、羊の群れのような白い石灰岩「羊群原」が現れた。

毎年、春を迎える恒例行事である野焼きは草原の維持や害虫駆除を目的とし、今年は地元住民や消防など約280人が参加した。午前10時半ごろに火が放たれるともうもうと煙を上げて炎の帯が広がっていき、台地を黒く焦がした。

平尾台の野草が好きで、よく山歩きに訪れるという同市八幡西区の川原田美代子さん(71)は「草花が芽吹いて彩り豊かな1年が始まる。今からわくわくしますね」とほほ笑んだ。

不屈の魂、銅像に込めウクライナ人彫刻家、
行橋で3月4日に除幕式

ウクライナ侵攻から1年が過ぎ、3月1日、行橋市のJR行橋駅前に戦争終結と平和を願う銅像が立った。作者はウクライナ東部ハリコフの彫刻家ウォロディミル・コチュマルさん(52)。市などが催す国際公募彫刻展に激戦地から応募し、大賞に選ばれた作品だ。この日、市役所で記者会見に臨み、母国に心を寄せながら「また立ち上げられるように祈りを込めた」と語った。

コチュマルさんによると、故郷ハリコフは「地域

によってはすべて破壊され、何もない状態」。自宅アパートは砲撃でガラスが割れ、周囲には脚を失ったり、家を破壊されたりした知人がたくさんいるという。この1年を振り返り「戦争は未来を奪う。明日どうなるか分からない不安な日が、まだ続く」と目を伏せた。

昨年秋、作品制作のため行橋市の支援を受け出国。鑄造が盛んな富山県高岡市に一時滞在し、高さ約2.2mの銅像を完成させた。2月28日未明、作品を載せたトラックで高岡を出発し、約12時間かけて行橋入り。一夜明けて設置作業を終えると、いとおしそうに自作を見つめ続けた。

モチーフはメキシコの伝説的女性画家フリーダ・カーロ。病気や交通事故の後遺症など苦難の中でも「愛と創造性を失わなかった人生」に、母国民の不屈の魂を重ねる。「ポジティブな生き方の見本として、多くの人に思いが伝わらばうれしい」。シートで覆われた銅像は3月4日の除幕式で公開された。

スピノサウルスの全身骨格標本が目玉

いのちのたび博物館リニューアル

北九州市立いのちのたび博物館(八幡東区)の常設展示が2013年以来、10年ぶりにリニューアルされた。目玉は全長約15mの肉食恐竜スピノサウルスの迫力ある全身骨格標本だ。国内で所有する博物館はほとんどない貴重な標本という。地球誕生からの生物の進化や人の歴史が学べる同館。3月4日の再オープン以降、多くの来館者を楽しませている。

同館の収蔵資料は約83万点にも上るが、スペースの都合で常設展示は6千点ほどに限られる。今回新たに公開されたのは特別展で人気を集めていた資料を含む約200点に及ぶという。

約1億年前に地上を闊歩したスピノサウルスの骨格標本は、広い吹き抜け空間がある自然史ゾーンのアースモールに展示されている。やや細長い顔や、背骨の一部が帆のように巨大化したのが特徴だ。

同ゾーンで、その巨体を来館者が見上げるような格好で展示されている大型哺乳類エレモテリウムカッポの全身骨格標本(全長約4m)も目玉の一つだ。大きな前脚は伸びた腕のように見え、その姿はまるで「巨人」だが、実は約150万年前に生きていたナマケモノの仲間という。

このほかにも多くの骨格・動物標本、鉱石標本が追加されている。

歴史ゾーンでは「文化学習園」のかやぶき屋根がふき替えられた。明治期の北九州地方の農家を再現した施設で、座敷にも上られるようにし、来館者の体験を増やす工夫を凝らしている。

同館の田平直幸企画係長は「展示はパワーアップした。特に骨格標本は見上げたり見下ろしたりして、いろいろな角度から楽しんで」と話している。

福岡地区

福岡市の「リッツ・カールトン」開業は6月21日
九州初の米系高級ホテル

積水ハウス（大阪市）と米ホテル大手マリオット・インターナショナルは2月28日、福岡市中央区の大名小跡地に立つ複合施設「福岡大名ガーデンシティ」の核テナントとなる米系高級ホテル「ザ・リッツ・カールトン福岡」について、6月21日に開業すると発表した。

ザ・リッツ・カールトンブランドのホテルとしては国内6軒目で、九州では初進出。ウエディングチャペルや宴会場をはじめ、147室のゲストルームと20室のスイートルームを備える。

地上25階、地下1階建てのガーデンシティは、市の再開発促進事業「天神ビッグバン」の容積率緩和ボーナスを適用。商業フロアは4月から順次開業する。

博多人形「宗像三女神」6年がかりの完成
福岡市の作品展で初披露

博多人形の伝統工芸士、川崎幸子さん（79）が手がける「宗像三女神」が6年がかりで完成した。2月28日に福岡市早良区のはかた伝統工芸館（市博物館2階）で始まった幸子さんと弟で博多人形作家協会長の修一さん（73）の2人展で、3柱そろった女神が初めて披露された。

古代の女神をモデルに創作に励む幸子さんは2017年、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」（宗像市など）の世界文化遺産登録をきっかけに宗像大社が祭る宗像三女神の制作を始めた。女神の人形（高さ約30～35㎝）は「潮風が吹く祈りの場に顕現した女神」のイメージで、風になびく衣など優美な造形で神話の世界を表現。「細かな造形や彩色で3柱の違いを出した」と話す。

最後の1柱が完成し発表の場として2人展を開催。修一さんは沖ノ島に太刀を奉納する宗像の豪族の人形などを出品し、展示の世界観を深めている。

金銀の大鍋でぜんざい2万食
宮地嶽神社の春季大祭

福津市の宮地嶽神社境内にある不動神社で2月28日、春季大祭「ぜんざい祭」が行われた。直径1.5m、高さ1mの金色と銀色の大鍋で約480kgの小豆を煮て準備した約2万食の餅入りぜんざいが参拝者に振る舞われた。

願いを込めてお祈りすれば、お不動さまが「善哉、ぜんざい、善哉、よきかな」と願いをかなえてくれるとされ、ぜんざいを食べることで無病息

災で過ごせるともいわれている。

普段は入れないお不動さまを祭る横穴式石室の古墳内部の参拝もできた。宮地嶽神社の本殿から上り坂を歩いた先にある不動神社にたどり着いた参拝者は、甘いぜんざいを食べてほっと一息ついていた。

糸島市議会のネット中継、AIで字幕
3月定例会から新システム導入

糸島市議会は3月定例会から、市議会のインターネット中継を「字幕（文字通訳）付き」に拡充するシステムを新たに導入した。民間の音声認識AI（人工知能）を活用。中継対象となる本会議などの発言内容をリアルタイムで字幕で確認できる。

字幕付きで配信するのは、定例会や臨時会の本会議のほか、予算特別委員会や決算審査特別委員会を予定。3月定例会では、3、15日の議案質疑や予算特別委員会、13、14両日の一般質問、23日の議会最終日の質疑・討論などが字幕付きの配信対象。いずれも午前10時開会予定。

議会事務局によると、議会活動に関する調査特別委員会で「市民により分かりやすい議会に」と発案され、導入を決定。同様の音声認識AIを活用した配信は、大阪府吹田市や静岡県沼津市が導入済みという。

市議会ホームページから視聴できるライブ中継画面で「字幕表示あり」を選択すると、字幕を表示する。アプリなどのインストールは不要で、導入初日の1日の本会議では、おおむね順調に字幕が示された。後日配信の録画放送は字幕に対応しないという。

東海大福岡高ラグビー部が8年ぶり全国選抜
宗像サニックスの後押しで創部

東海大福岡高ラグビー部（宗像市）が全九州高校新人ラグビー大会で準優勝し、8年ぶり2度目の全国選抜大会（3月25日～、埼玉県熊谷市）に挑む。東海大五の校名時代の前回出場は推薦枠のため、初めて実力でつかんだ晴れ舞台。昨年活動休止した地元の社会人チーム「宗像サニックスブルース」の後押しを受けて創部に至った経緯もあり、恩返しの大暴れを誓う。

2月半ばに沖縄県で行われた全九州新人大会は二つのトーナメントに分かれ、各上位3校の計6校が全国選抜の出場権を得た。東海大福岡は初戦で名護（沖縄）に68-0で大勝すると、勝てば「選抜切符」が確定する準決勝で、冬の全国大会（大阪・花園）8強の長崎北陽台と対戦。後半半ばまで0-0の一進一退の攻防を7-0で制した。

筑豊地区

デゴイチ点検200回、3月5日に特別公開
直方市の「汽車倶楽部」

「デゴイチ」の愛称で親しまれ、通常は見られない蒸気機関車（SL）D51形の225号機が3月5日、特別に公開された。直方市のNPO法人「汽車倶楽部」（江口一紀理事長）が通算200回目となる定期保守点検を記念し、車体を保存する旧直方いこの村（同市畑）でお披露目するイベントを開いた。

225号機は鉄道省（戦後に国鉄）小倉工場で製造された30両のD51形の一つで、1939（昭和14）年に完成した。72年10月には、筑豊線でSLを3両つなげて走らせる「3重連」の先導を務め、「鉄道100周年記念号」を率いた。

廃車後、直方市が国鉄に無償貸与を申し入れ、75年6月から市有の現在地で車体を静態保存している。

汽車倶楽部は、筑豊地区で石炭を運んだSLを「産業遺産」とし、保守点検や修復、保存に取り組む。225号機は2006年に現役時代さながらの外観に修復。以降、毎月第1日曜日に保守点検を続け、5日で200回に達した。

チロルチョコの松尾製菓、
田川市で創業し120年

「チロルチョコ」を製造する松尾製菓（田川市）などは3月1日、東京都内で創業120周年発表会を開いた。コンビ名やメンバーの名字にちなみ、お笑いコンビ「チョコレートプラネット」の長田庄平さんと松尾駿さんが登場し、「一日宣伝部長」に就任した。

同社は1903年、現在の田川市で創業。62年に看板商品のチロルチョコブランドが誕生、2004年に企画・販売を担うチロルチョコ（東京）を設立した。

発表会で、両社の松尾裕二社長から特製の名刺を手渡されたチョコレートプラネットの2人は、「うれしい。今までのチョコレート（関連の）仕事で一番大きな仕事」と語った。また、これまでに発売された「わさび」や「ピザ」など個性的な味のチロルチョコを試食し、ファンの投票で決まった「最も攻めた味」を当てるゲームにも挑戦した。

田川の「川渡り神幸祭」4年ぶり開催へ
幟山笠、みこし全て参加

風治八幡宮（田川市）は3月6日、新型コロナウイルスの影響で中止となっていた「風治八幡宮川渡り神幸祭」（県指定無形民俗文化財）を5月20、21日に4年ぶりに開催すると発表した。色鮮やかな幟山笠11基とみこし2基の全てが例年通り参加する。宇都宮誠宮司は「決まったからには、事故が起

きないよう万全を期したい」と話した。

同八幡宮によると、2月にあった役員会で神幸祭の開催方針を決定。3月1日、幟山笠を出す地区や関係各団体の責任者を集めた会合で、正式に開催を了承したという。ただ感染対策として、有料観覧席（約270席）やお旅所でのステージイベントなどはない。

奉賛会の原正直会長（75）は「コロナもようやく収束しつつあり、地元のみなさんの祭りをやりたいという思いが本当に強かった」と理由を説明する。また、多くの子どもたちが鉦叩きなどを知らないまま成長してしまうことへの危機感にもじむ。「これ以上の中止は、技術伝承の上で悪影響が大きい」と話す。

幟山笠が彦山川を勇壮に渡る祭りは450年の歴史があり、県内五大祭りの一つ。五穀豊穡や悪疫退散を祈る。20万人以上の見物客でにぎわう。

国枝さん国民栄誉賞「社会に好影響、すごい」
思い入れの地、飯塚沸く

3月3日の国枝慎吾さんの国民栄誉賞決定は、後に続けと練習に励む九州の障害者スポーツの選手たちを勇気づけた。国枝さんが9回の優勝を重ね、引退会見で「すごく思い入れがある」と語った飯塚市の「天皇杯・皇后杯飯塚国際車いすテニス大会（ジャパンオープン）」の運営関係者も喜びを分かち合った。

「彼の受賞なら納得だし、パラスポーツを引き上げてくれて感謝しかない」。車いすマラソンでパラリンピックに3大会連続出場した直方市の洞ノ上浩太選手（48）＝ヤフー＝は語った。「洞ノ上さん、仕方ないですよ。次に行きましょうよ」。約10年前、食事の時に悩みを打ち明けた際、即座に明るく前を向くように励まされたことを覚えている。「普段から後ろ向きなことを言わない。言葉の力を大切に磨いてきた彼なら『第2の国枝』を育てられる」と賛辞を贈り、今後の指導者としての活躍を期待した。

国枝さんは飯塚市のジャパンオープンに15回出場。主催する日本車いすテニス協会の前田恵理会長（68）は、2003年の初出場から国枝さんを見てきた。「彼が残した実績と発したメッセージは『パラスポーツ』の枠にとどまらず、社会全体に良い影響を与えた。すごいよ、おめでとうと伝えたい」

大会で、20年近くボランティアとして国枝さんたち選手の送迎を担ってきた大任町の帆足昌平さん（77）は、観客が年々増え、注目度が上がったことに触れ「引っ張ってきたのは間違いなく国枝君」とうなずいた。

「障害の有無にかかわらず、多くの方が感動や勇気をもらった」。強さと人柄を称賛し、パラスポーツ界で初の栄誉をたたえた。

筑後地区

経営と学業両立、72歳の巣立ち 明善高校定時制の木下さん

多くの高校で卒業式があった3月1日、明善高(久留米市城南町)では、全日制、定時制課程の計281人が学びやを巣立った。卒業生9人の定時制で生徒会長を務めたのは木下修一さん(72)。孫くらい年の離れた同級生と過ごした4年間を振り返り、「思わず噴き出して笑ってしまうこともあったくらい、楽しい学校生活だった」と答辞を述べた。

高校へのあこがれを胸に秘めたまま、会社経営も落ち着いた60代後半。もう一度、妻に相談すると「明善の定時制に行ったら」と背中を押してくれた。入学試験の作文に合格して2019年、晴れて古希を前に高校生となった。

当初、勉強は全く分からなかった。特に数学は「何を言っているか、ちんぷんかんぷん」。プリントを持ち帰って数学の得意な妻に教わり、先生に根気強く質問しながら、必死で授業についていった。

定時制に通い、会社経営も続けた木下さん。出張時以外はほぼ欠席せず、高校生活を終えた。「みんなが同い年のように接してくれ、人間関係で悩むことは一度もなかった。何も言わず、応援してくれた妻に感謝です」。笑顔で学校を後にした。

水郷・柳川に春告げるお堀開き どんこ舟で1年間の川下りの安全祈願

水郷柳川に春の観光シーズン到来を告げる「お堀開き」が3月1日、柳川市隅町の川下りコースであった。掘割沿いの梅の花がほころぶ中、主催する市観光協会や行政などの関係者約50人が1年間の川下りの安全と観光振興を祈願した。

どんこ舟2隻に板を渡して設置した祭壇で神職たちが祝詞を上げ、掘割に清めの紙吹雪や清酒をまいた。玉串をささげて祈願した同協会の高橋努武会長ら関係者は、どんこ舟4隻に分乗。新型コロナ禍や悪天候で昨年まではできなかった、日吉神社まで約2キロの川下りにこぎ出した。

高橋会長は「ここ2、3年は規制の中での観光だったが、これからはコロナ禍を乗り越えて新たな形で楽しんでほしい」と期待した。市内では4月3日まで「柳川雛祭り さげもんめぐり」が開催中で、今月21日には「おひな様水上パレード」がある。

「五輪もパラも」挑む二刀流 大牟田出身の競泳石原

原因不明の視野が狭まる病気と闘いながら、競泳の大会で活躍する神奈川大の石原愛依選手(21)＝

大牟田市出身＝が3月4日、障害者のレースに初出場し、五輪もパラリンピックも目指す決意を固めた。日本のアスリートとしては非常に珍しい選択だが「1人1レーンは(健常者のレースと)一緒。少しでも選手としての可能性を広げたい」と力を込める。

3日に国内限定ながら視覚障害の中で最も軽いクラスでの出場が認められた。4日、静岡県富士市で開催した日本パラ水泳春季チャレンジレースに初参戦し、女子100メートル平泳ぎ(視覚障害SB13)を1分10秒09の日本新記録で制した。

石原選手は大牟田市白光中3年時、全国中学校大会女子200メートル個人メドレーで優勝。柳川高3年時には世界ジュニア選手権女子の2種目で銅メダルを獲得した。将来の五輪候補として期待されたが、神奈川大2年だった2021年秋に突然、視野が狭まり、光の調節が難しくなった。原因不明でサングラスをかけないと日常生活を送れず、レースでもコースロープが見えずにぶつかるようになった。診断でも病名ははっきりしていない。

昨春には引退も頭をよぎったが「素直に水泳が好きで、(どんなレースでも)勝ちにこだわりたいという思いがあった」という。初レースを終え「(健常者の)代表選考会より緊張したけど、自分らしいレースはできた」とほほ笑んだ。

今後、障害者レースの国際大会への出場が認められれば、女子200メートル個人メドレー(視覚障害SM13)ではこれまでの自己記録が世界記録を上回っており、来年のパラリンピック・パリ大会での金メダル候補になる。7月に福岡市で開かれる健常者の世界選手権出場への思いも強い。「地元開催は人生で一度しかないはず。代表に入って恩返しし、五輪もパラリンピックも目指す」と誓った。

柳川観光大使の音楽家 北原白秋記念館にリサイタル売り上げ寄付

2020年から柳川観光大使を務める音楽家の吉田明未さんが3月5日、柳川市上宮永町の柳川市民文化会館「水都やながわ」でソプラノリサイタルを開いた。会場で、チケット売り上げの一部に当たる10万円を寄付金として、同市の北原白秋生家・記念館を管理する財団理事長の沖毅教育長に贈呈した。

福岡市出身の吉田さんは母が柳川市出身で、幼少期から祖父の墓参りなどで柳川を訪れた。横浜市のフェリス女学院大音楽学部演奏学科を首席で卒業し、ウィーン国立音楽大マスタークラスを修了。各地のコンサートで活躍する。

この日のリサイタルでは、『この道』や『ペチカ』『からたちの花』といった白秋作詞の十数曲を歌い上げて聴衆を魅了した。

福岡地区

大宰府展示館・水城館

大宰府展示館 〒818-0101 太宰府市観世音寺四丁目6-1 ☎092-922-9524
 水城館 〒818-0101 太宰府市国分二丁目17-10 ☎092-555-8455



都府楼跡の名でも親しまれる「大宰府政庁跡」は、7世紀後半から奈良、平安時代にかけて、九州の政治外交の中心を担った地方最大の役所「大宰府」が置かれたところで、現在は国の特別史跡に指定され、史跡公園として人々の憩いの場となっている。

1980年に開館した大宰府展示館では、大宰府史跡の発掘調査によって検出された奈良～平安時代の遺構（溝）の一部を当時の姿のまま保存、公開。また新元号「令和」の由来にもなった、730年正月13日、大宰帥大友旅人の邸宅で行われた、万葉集にある「梅花の宴」の様子を博多人形で再現したジオラマ（博多人形師・山村延燁作）の展示、出土遺物や模型などを陳列し、大宰府の歴史と文化を紹介している。

2017年4月には国の特別史跡「水城跡」東門の北側に、大宰府展示館の分館として「水城館」が開館した。663年白村江の戦の後、北部九州の防衛拠点として築造された水城は、当時の朝鮮半島の高度な土木技術を駆使して作られた。水城館はその土塁のイメージを盛り土で復元、その内部に施設を埋め込んだ特徴的な建物となっている。

館内には福祉トイレや休憩スペース、展示スペースを備え、水城や大宰府全般の史跡について、美しい映像で紹介。館と連続した土塁の上部には展望台が設けられ、水城跡を一望でき、大宰府展示館に隣接する「学校院跡」「観世音寺」「戒壇院」などと合わせて、史跡散策の拠点として利用されている。

【アクセス】 ■大宰府展示館 西鉄天神大牟田線都府楼前駅より徒歩15分、太宰府市コミュニティバス まほろば号 大宰府政庁跡バス停下車
 ■水城館 西鉄天神大牟田線下大利駅より徒歩10分、太宰府市コミュニティバス まほろば号 特別史跡水城跡東門前バス停下車 (須田 敏)

筑豊地区

嘉麻市碓井平和祈念館

〒820-0502 嘉麻市上臼井767番地 ☎0948-62-5720 (嘉麻市生涯学習課文化財係)



碓井平和祈念館は、平和と人権をテーマに、碓井図書館との複合施設として平成8年（1996）に開館した。正面入口前には八女郡星野村（現八女市）から分火された「平和の火」が恒久の平和を願い灯されている。

常設展では、自らも兵士として中国などに出征した、武富登巳男さんが収集したアジア太平洋戦争の資料をベースに、全国から寄せられた戦時資料を展示している。犬の毛皮が使われた防寒具、陶器製の手りゅう弾や地雷などの兵士が戦場で使用していた道具、銃後の生活用具をはじめ、日中戦争から太平洋戦争にいたる貴重な資料の数々である。

西日本新聞の筑豊版では「モノが語る戦争」と題してこれらの収蔵品から見えてくる戦争の実相、背景を伝える寄稿記事を連載している。

もう一つのテーマである人権センターでは、嘉麻市出身で九州水平社運動の黎明期に活躍した田中松月さんの足跡をたどる展示を行っている。

【アクセス】 JR福北ゆたか線「桂川駅」から西鉄バス27番西鉄大隈方面行きバス乗車、「碓井農協」下車、徒歩5分。織田廣喜美術館と同じ敷地内。



(米倉 弘子)

2022年度 同好会報告

つづら会

会長 圓佛 誠孝
世話人 土井 健 (代表)

2022年度活動報告

コロナ禍の影響で2020年2月(第190回)を最後に休止していましたが、3月25日(土)に、新旧世話人のもとで再スタートします。再スタート第一弾は、桜の名所「千鳥ヶ淵公園・皇居周辺」のお花見散策コースを企画し、神田西口商店街「むさし坊」で昼食を楽しむ予定です。

つづら会は、2003年6月の第1回開催から実に20年もの歴史を刻み、関東近郊の歴史スポットや景色見どころを訪ねる知的好奇心と、概ね5キロ〜7キロのウォーキングによる爽快感とが相まって、毎回40名前後の参加者で賑わう同好会としてご好評をいただいております。

今後の活動予定

毎月第4土曜日に開催する予定です。過去にご好評をいただいた人気コースや、知られざる歴史的価値のある場所など、世話人があちらこちらを訪ね歩き、探してみたいです。

皆さまにとって月1回のつづら会を「健康のバロメーター」と位置付け、福岡県にゆかりのある老若男女がワイワイ楽しく集まれる会として運営させていただきます。

毎月の開催要項は、会報誌、ホームページ、Facebookなどでお知らせいたします。(世話人代表 土井 健)

103通吏門の会

2022年度活動報告

山好きな仲間と一緒に山に登り、森林浴しながら汗を流して心身ともにリフレッシュするのが当会の目的です。22年度はコロナ禍もあり、4月と9月の2回のみ実施しました。

4月23日は、新緑の青梅丘陵ハイキングコースで7名参加(内、初参加3名)。

9月4日は、鎌倉の天園ハイキングコースと下山後は源頼朝の墓などの史跡巡り。9名参加(内、初参加2名)で、大須賀会長も初参加されました。

いずれも低山でしたが適度なアップダウンがあるコースで山登りの雰囲気味わえました。本来なら下山後に温泉に入り汗を流して、冷たいビールを飲みながら懇親会を行うところですが、2回とも取りやめ来年度に楽しみを残しました。

低山中心ですからどなたでも山ガール、山ボーイになれます。参加される方は、体調管理と登山靴、雨具、リュック、帽子、食料、水などの装備を忘れずに持参ください。

今後の活動予定

今年度は4月(桜)、7月(夏山)、11月(紅葉)の3回実施する予定です。4月1日(土) 小田急秦野駅から弘法山、鶴巻温泉へ。7月、11月は今後詳細をご連絡します。ご希望があればご連絡ください。

(世話人 牛島 康明)
Email: aki.0728@outlook.jp

皇居を走ろう!! 同好会

代表世話人 土井 健
副世話人 糸山 周栄

2022年活動報告

コロナ禍ではありましたが、主に屋外活動における環境下であったことから、既に2021年3月には本格的な活動を再開しています。今年度は各種マラソン大会も制限付きながらも再開しており、同好会として3年ぶりに皇居ラン以外の各種大会(「新国立競技場リレーマラソン」「白井梨マラソン」「足立フレンドリーマラソン」)などに参加。さらに活動内容をYouTube等各種SNSにアップ

することで、県人会の中の同好会という枠に留まらず、皇居周辺のランニングステーションの提携(割引あり)、Instagramで9000人のフォローワーを持つ方の参加(会の宣伝に協力)、福岡出身の芸能人の参加など、外部との交流も図り、知名度向上において、実りの多い一年となりました。

今後の活動方針

10月で第100回目と言う節目を迎え、5月に設立8年を迎えます。参加者の平均年齢が上がっていることは紛れもない事実ですが、ランニングという共通の趣味や各種SNS発信の効果も出てきており、20〜30代の参加も徐々に増え、参加者の年齢構成も幅広くなっています。

また、同好会に参加してから県人会の会員になるという事例も多数あるため、会報誌だけでなく、各種SNS等を通じ「関東に福岡出身者がいる集まり」があることを伝える「広告塔」の役割を率先して担い、同好会活動を通じて皇居ランだけでなく、県人会自体の魅力を発信できるように動きを引き続き行っていきたいと思っております。

(副世話人 糸山 周栄)

ゴルフ同好会「玄気会」

会長 瀬戸 渡副会長
常任世話人 明石 康彦
田島 登吾

玄気会は昭和63年(1988)に第1回大会が開かれて以来、35年の歴史を持つ同好会です。当時の福岡県知事から優勝カップを寄贈いただき、優勝者に授与するの古い歴史を誇る玄気会ならではの活動です。

2022年度活動報告

1. 第29回例会
(期日) 5月19日(木)
(会場) 大厚木カントリークラブ
(参加者) 16名
優勝 中島 幸雄

2. 第30回例会
(期日) 12月16日(金)
(会場) 箱根ぐらかけゴルフ場
(参加者) 13名
優勝 嶋田 哲

- 準優勝 瀬戸 渡

- 今後の活動予定

2023年度も春秋2回の開催を予定しています。5月及び11月となる見込みですが、決まり次第会報及

び会員宛メールでご案内します。ゴルフはコロナに強い屋外スポーツです。皆様に安心してご参加いただけるよう運営してまいります。

(常任世話人 田島 登吾)

囲碁同好会 福寿会

会長 永尾 嘉政
世話人 山口 浩利

2022年度活動報告

「福寿会」は発足以来、今年6月で20年目を迎えますが、2020年2月8日月例会(第181回対局)を終えたところでコロナのパンデミックにより休眠しています。5類への引き下げで時計の針が大きく動き出すことに期待して、5、6月頃の再開を期待しています。

福寿会も20周年を迎えてみると、平均年齢も還暦前後の中心から80歳前後になるわけでして、若返りの必要性を感じながらも、この3年間を無為に過ごしたことを大いに反省しています。会の運営、囲碁会の開催は年に月例会を9回(第2土曜日午後)と熱海への一泊旅行会(4、10月)、8月を休会としており、出席者は登録メンバー約40名のうち、各人が都度日程のご都合次第の参加ですので、12〜18名の範囲でした。

対局方法はAグループ(高段者グループと称す)とBグループ(有段者グループと称す)に分けて原則としてグループ内での対戦、その戦績によって加点し持ち点を上げる仕組みですので、持ち点を下げることが

原則なし(本人の希望は考慮する)。そのため、点数は時間を追って上がっていくこととなります。

今後の活動に際して

県人会員の老若男女の皆様、これから囲碁なるものを始めてみようか、という方々、「初心者歓迎」、「女性も大歓迎」、昔学生時代に熱中した人、昼休みのあわただしい対局やネット対局を楽しんでおられる方々等、囲碁に興味あり、また囲碁大好きの方々の参加をお待ちいたしております。

ご連絡・お問い合わせは世話人

山口浩利までお願いします。
yarnaguchihiroshi@ka-npom.com
090-2178-3330

(世話人 山口 浩利)

東京びょうめ会

会長 片山 紀雄
幹事長 辻野 吉勝

2022年度活動報告

11月15日(火)、ホテルラングウッドにて開催予定で準備しておりましたが、コロナ禍が収まりを見せないため断念いたしました。

今後の活動予定

2023年に入り、第8波のコロナ感染者数はピークを過ぎ、大幅に少なくなってきたっており、周りも徐々にではあるがリアルでの飲み会が活発になってきました。

2月13日(月)、日暮里で幹事会を開き、「第15回東京とびうめ会」を本年9月中に開催する、と決め準備にかかることになりました。開催日、

開催場所などについては、①夜間開催の場合、9月25日(月)アトホテル日暮里ラングウッド(改名)と②昼間開催の場合、9月9日(土)主婦会館に分けて検討中です。詳細が決まりましたら改めてご案内させていただきますのでよろしくお願いたします。

(幹事長 辻野 吉勝)

ラグビーファンクラブ

今秋はラグビーワールドカップ・フランス大会です。日本ラグビー・リーグワンも後半戦に入り、プレーオフに向けて各チーム熾烈な試合を展開しているところです。

残念ながら、ご存じのように当同

好会はコロナ禍及びプロ化に伴う観戦料の値上がり、観戦スタイルの変更等の事情により、一時的に活動を中止しております。

来季23〜24年度に向けて極力割安の観戦チケットを入手できる方法、観戦後の懇親行事方法も含めて模索している最中です。ちなみに現在の観戦料金は2千〜4千円で、観戦席もバラバラです。来季は協会も観客動員の関係上、見直しの検討をするものと思われまます。当会の幹事会でも活動方法の見直しを検討してまいりますと思っております。

なお、秩父宮ラグビー場、神宮球場は神宮外苑付近の再開発のため、いよいよ取り壊しが始まるようです。

(代表幹事 友田 公治)

第34回川筋会開催報告

2月17日(金)、「第34回川筋会」を銀座ライオンクラシックホールで開催しました。当番校飯塚商業大村重典会長の開会の挨拶、田中寛利川筋会会長(嘉穂)の挨拶に続いて、福山祐子東京福岡県人会副会長(田川)の乾杯の音頭で3年ぶりの宴が始まりました。恒例の各同窓会のメンバー紹介・近況報告、お楽しみ抽選会で盛り上がり、全員での合唱タイムでは、筑豊人の愛唱歌「筑豊の子守歌」を熱唱しました。最後に集合写真を撮影し名残りを惜しみながら散会。次回は8月です。参加者は会場の人数制限もあり50名と今までに比べ少なかつたですが、会うことの大事を痛感したひと時でした。

(写真・報告 川筋会事務局)



同好会だより

第93回皇居を走ろう!!

同好会開催報告

3月4日、徐々に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。そんな絶好のランニング日和に、今回は20名に参加いただきました。

皇居周辺は、多くの外国人観光客が訪れており、とても賑わいを見せていました。ようやくコロナ前の日常が戻ってきたような雰囲気でした。また、翌日に控えた東京マラソンの準備も行われており、活気を感じることができました。

今回も、初参加の方やコロナ禍で参加できていなかった方など多くの方にご参加していただきました。各自のペースで思い思いに汗を流しました。今回、筆者の大園は、年末にマラソン大会の参加を考えており、多くの大会に出場されている先輩にトレーニング方法などをお聞きしながら2周走り、多くのことを学ぶことができました。

読者の皆様、是非ご参加ください。

報告 大園 祐樹

次回第94回開催連絡

日時 令和5年4月8日(土)17時
集合 皇居「平川門」ベンチエリア
申込み・お問い合わせ先

世話人 土井・糸山

090-7007-3627 (携帯)

takecs@nifty.com

第192回「つづら」開催案内

日時：4月22日(土) 10時集合

解散予定は14時頃

集合：JR総武線浅草橋駅東口

都営浅草線浅草橋駅A3出口
各出口から水戸街道(国道6号線) 向かいのビル前に集合
住所：台東区柳橋1-20-1

(PARTS CLUB)

会費：1,500円(昼食代込み)

※お釣りのないようご準備ください
緊急連絡先：090-7007-3627 土井
コース概要：隅田川・浅草界隈散策

(全行程 約5.7km)

浅草橋→隅田川テラス(川沿い散策)
↓浅草寺雷門→仲見世→浅草ホッ
ピー通り→浅草演芸ホール→花やし
き→六角堂→浅草寺→浅草神社→隅
田公園ひょうたん池→アサヒビール
(昼食)

昼食会場：TOKYO隅田川ブルーイング

墨田区吾妻橋1-23-36

03-5608-3832

注意事項：ウォーキング時のお水、お茶等は各自ご準備・ご持参下さい。

申込：4月14日(金)までに下記申込

フォームよりお申込み下さい。

PCから<https://www.secure-cloud.jp/>

[sf/1674535679FpEmVUj](https://www.secure-cloud.jp/)

スマホから<https://www.secure-cloud.jp/>

[sf/sp/1674535679FpEmVUj](https://www.secure-cloud.jp/sf/sp/1674535679FpEmVUj)

※申込は電話・メールでも受付ます

世話人代表 土井 健

090-7007-3627 takecs@nifty.com

福岡の物産展

春の福岡物産フェア

会期 4月5日(水)～4月11日(火)

10時～20時半 日祝～20時

最終日は19時閉場 11社予定

会場 グランドデュオ立川1階催事場

042-540-2111

Funabashi パンカフェ

会期 4月6日(木)～4月11日(火)

10時～19時 最終日～18時

会場 東武百貨店 船橋店

6階イベントプラザ

047-425-2211

せいせき福岡物産展

会期 4月6日(木)～4月12日(水)

10時～19時半 最終日～17時

会場 京王百貨店 聖蹟桜ヶ丘店

7階催事場 35社出展予定

042-337-2111

九州うまいものいっぱい

会期 4月13日(木)～4月19日(水)

10時～20時

会場 京急百貨店 地階催事場

045-848-1111

第7回春の九州・沖縄展

会期 4月19日(水)～4月24日(月)

10時～19時 最終日～17時

会場 丸広百貨店川越店5階催事場

13社出展予定

049-224-1111

大九州展

会期 4月19日(水)～4月24日(月)

10時～19時 最終日～17時

会場 伊勢丹 浦和店 7階催事場

048-834-1111

ばりうま!ふくおか味めぐり

会期 4月19日(水)～4月25日(火)

10時～20時半

会場 小田急百貨店 町田店

地下1階 食品催事場

0570-025-888

九州グルメフェア

会期 4月20日(木)～4月26日(水)

10時～20時

会場 東急百貨店 たまプラーザ店

地下催事場

045-903-2211

福岡フェア

会期 4月26日(水)～5月1日(月)

10時～19時 最終日～16時

会場 丸広百貨店飯能店2階催事場

042-973-1111

47都道府県ぐるり食めぐり

会期 4月26日(水)～5月9日(火)

10時～19時

会場 東武百貨店 船橋店

6階イベントプラザ

047-425-2211

※詳しくは物産振興会ホームページをご覧ください。

「博多織」「博多人形」新作展を開催

福岡・博多で育まれた伝統的工芸品である「博多織」、「博多人形」の新作を一堂に集めた展示会を東京・青山で開催します。博多織、博多人形それぞれ約100点もの新作が、一堂に集まる大変貴重な機会です。また、期間中は博多織、博多人形の制作実演を行います。是非お越しください。

日時 **第66回 新作博多織展** 4月14日(金)～20日(木)
第73回 新作博多人形展 4月21日(金)～27日(木)
11時から19時まで (ただし各初日は12時開館、各最終日は18時まで)

場所 **伝統工芸 青山スクエア** 東京都港区赤坂8-1-22 1F



第65回 新作博多織展 内閣総理大臣賞
「八寸なごや帯 総浮 更紗問道」
原田織物(株) 作

鎌倉時代、聖一国師とともに宋に渡った博多の商人が織物の製法を持ち帰り、これが博多織の始まりとなりました。江戸時代には、幕府への献上品として選ばれ、その際の柄である独鈷華皿文様は「献上柄」と呼ばれるようになりました。家内安全や子孫繁栄を願う博多織の代表的な柄として、今日まで受け継がれています。

きわめて精密で繊細な手の仕事によって生み出される博多織は、しなやかでありながら丈夫なため、特に着物の「帯」としては国内屈指の評価を集めています。伝統を守りながら、素材の研究や色彩技術のイノベーションなど新たな工夫にチャレンジし、博多の心意気を世界に伝え続けています。

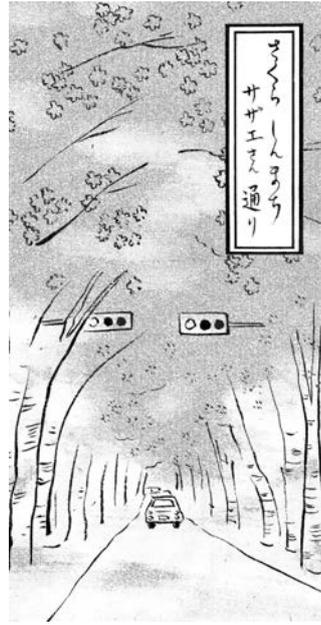


第72回 新作博多人形展 内閣総理大臣賞
「(能船弁慶平知盛) 嵐の波間に浮かぶ平家の怨霊」
國崎正行 作

1600年、黒田長政の筑前入国に伴って集められた職人により、素焼き人形が生まれ、現在の礎がつくられたといわれています。江戸時代の後半には名工たちが活躍し、業界は活況を呈し全国に流通するようになりました。明治になり、写実的な意匠が取り入れられ、パリなど国際的な博覧会で高い評価を受け、日本を代表する人形として「博多人形」の名で世界に知られるようになりました。

高度な技術と手間を必要とする博多人形は、時代とともに発展してきました。和室や床の間にはもちろん、現代のリビングにもさりげなくマッチするデザインのものも多く生み出され、私たちの生活に潤いを与えてくれます。

お茶にせんね



サザエさんと私

伊佐裕

皆様も同じ思いをお持ちのことと思います

が、人生は何と異なるな人に助けられ生きて来られたか、その時の人との出会いが不思議な縁を結び、思わぬ世界が開かれていくことか、今日の話は福岡出身の私が東京に出て、『サザエさん』と出会い、思いは再び福岡へ戻る様なお話です。

十年前前に古き友の吉田宏氏（元福岡市長）の紹介で、世田谷区にある長谷川町子美術館の川口淳二館長と出会ってからの物語です。

世田谷に本社をおく弊社は、住宅建築の仕事を中心にしておりますが、川口館長は以前より弊社のファンだったと云うことで、早速に自邸をお願いされ、まずは順調に完成するに至って以来、永いお付き合いが始まったわけです。

何と館長夫人は、我が母校修猷館が生んだ総理大臣広田弘毅氏の奥様の身近な血縁のご人物で、お会いする度にこの不思議なご縁を喜び合います、ご夫妻と食事をご一緒することも再々であ

り、親交を深めさせていただいております。

その後、川口館長より長谷川町子記念館構想の相談を受け、弊社がそれを実現させるという責務を担うこととなり、足かけ五年をかけて設計、施工の上、完成するに至りました。二〇二〇年七月、記念館が世田谷区桜新町にサザエさんファン待望のもとオープンし、現在は世田谷の名所となり賑わっているわけです。



長谷川町子記念館

弊社にとりま

しても会社の歴史の中で大きな記念の仕事になったのですが、実はこれらが本文の核心とも云うべきところ

です。私の生まれ育った生家は、福岡市の西部、早良区高

取（旧大西町）にあり、旧唐津街道に面し、明治の面影を残した古い町家で今も現存しております。戦後まもなくは屋号をかかげた町家が軒を連ねており、その頃の長谷川家の住まいは、私の生家から徒歩十分の西南学院高校の前でした。長谷川さんは百道海岸への散歩の帰りに私の生家のあたりを歩まれたことと想像するわけです。そこであの「伊佐坂先生」のネーミングは、はたと考えてみると、珍しい私の名字ゆえ、その由来は私の生家にあつたのではと思うのです（独断ですが）。

この様に、世田谷で川口館長のご自宅建築、修猷館の繋がり、記念館の施工、福岡での生家と長谷川家が近所と、連なるご縁に驚くばかりなのです（笑）。



- 1950年 福岡市早良区生まれ
- 1969年 福岡県立修猷館高等学校卒業
- 1974年 丸紅(株)入社
- 1988年 伊佐ホームズ(株)設立
- 他に 森林パートナーズ、秩父フォレスト代表

（カット 瀬知エリカ）

会員動向

◇入会者◇ (三月十三日現在)

古川 敬満 (北九州市) 紹介者
 國松 伸一 (田川市) インターネット
 中村 真一 (飯塚市) 福山 祐子
 古賀 千景 (久留米市) 福山 祐子
 鬼木 誠 (筑紫野市) 県人会事務局
 県人会事務局

◇退会者◇

安藤 慎也 今井 梢
 岩下 泰三 大木 博時
 緒方 和男 緒方 浩樹
 小田部 弘美 堀 孝善
 高瀬 博彦 津田 秀夫
 辻 一美 原 亜紀
 中谷 敏忠 藤吉 弘一
 野口 義晴 藤吉 敏生
 藤井 睦正 三牧俊治郎
 皆倉 隆 吉松健一郎

リリース・コンサート情報

◆Neotetra (福地セイカ)

配信シングル『たからもの』
 3月15日リリース



ツアーファイナル&セイカ
 パースデーライブ2023
 4月9日(日)12時15分開演
 @渋谷GUILTY



◆平井千絵

F・シューベルト『冬の旅』
 4月15日(土)13時15分プレトーク、
 14時開演
 @Hakujū Hall



◇インタビュー後記◇

ばってん×ぶらぶらさん：皆さんこのお名前を聞くと、絶対に福岡の代表のような印象を受けられると思います。「ばってん」に「博多」ぶらぶら「ですもんね。これまでに、何度かプロレスを拝見したことがありました。いろいろな爆笑プレーがあるのですが、その中でも、必殺技のエルポーが最高です。福岡の方なら文句なしに抱腹絶倒間違いなし。そのテンションとは真逆に、普段は穏やかで賢くて、ジョークが面白い方でした。ますますファンになりました！まさにギャップ萌えですね。会員の皆様も九州プロレス、ばってん×ぶらぶらさんを、ぜひとも応援よろしくお願いたします。

小倉 文字

◇編集後記◇

今年、千鳥ヶ淵の夜桜ライトアップが4年ぶりに復活。ポート場も夜間営業を行うそう。水上からの幻想的な夜桜見物がまた楽しめそうです。会員の皆さまもそれぞれの桜を楽しまれたでしょうか。「郷土の先達」は、私の地元、筑豊田川の名物市長坂田九十百を牛島康明編集委員長が執筆しました。

「スポーツライト」は、プロレスラーのばってん×ぶらぶらさん。所属するNPO法人九州プロレスは、イベントや施設訪問、青少年健全育成などプロレスを通じて「九州は元気にするバイ！」の活動を行っている素晴らしい。

「あのひとこのひと」は、太宰府出身の萩尾拓朗さんと大分県中津市出身で福岡市での勤務経験がある三角奈穂さん。お二人のそれぞれの福岡愛が伝わります。「お茶にせんね」は、伊佐裕さんがサザエさんの作者長谷川町子さんとの不思議なご縁について書かれました。磯野家の隣人、伊佐坂先生のネーミングに伊佐さんのご実家が絡んでいたのではというのは面白い。伊佐裕さんの会社伊佐ホームズが設計した長谷川町子記念館に行きたくまりました。

(公報編集委員会担当副会長)

福山 祐子

今月の表紙

市制60周年を機に、さらに活気があふれるまちへ

みらいつなぐ北九州 60th



北九州市長
 たけうち かずひさ
 武内 和久

本年2月に北九州市長へ就任しました武内和久です。

これから、市民の皆様と未来志向の対話を重ねながら、わくわくするような北九州市をつくらしていきたいと考えています。

日本や世界の成長エンジンとなるような活気あふれるまちを目指し、ものづくりの歴史、自然環境、インフラなど、北九州市のポテンシャルを活かしたまちづくりに挑戦します。

昭和38年に北九州市制が発足してから、今年で60周年を迎えます。この1年間は、「みらいつなぐ北九州」をキャッチフレーズに様々な記念事業を予定しています。

2月には、日本初開催となったダンススポーツ「ブレイキン」の世界大会が北九州市で開催されたほか、10月には、国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」が、福岡・熊本・大分の3県で開催され、競輪発祥の地である本市からスタートします。さらに、12月には、これまでのフィルムコミッション事業で培った経験などを活かし、「北九州国際映画祭」を開催します。

こうした明るいニュースを国内外に発信することで、若者を始めとした多くの世代の方々に、広く北九州市の魅力を知っていただきたいと思えます。

また、北九州市の未来を切り拓くプロジェクトとして、響灘地区での風力発電関連産業の総合拠点化の取組が本格化しており、洋上ウィンドファームの建設が始まっています。さらに、九州・西中国の物流拠点化を推進し、地域経済をけん引するために不可欠な北九州空港の滑走路の3,000m化の実現に向けて準備が大詰めを迎えているところ。

こうした新たなポテンシャルも最大限に発揮しながら、私自身が先頭に立って、近隣自治体とのWinWinの連携を深めていくとともに、民間経験で培ったネットワークを活かしたトップセールスを積極的に行い、北九州市の更なる発展にチャレンジしてまいります。

ふるさと北九州市応援寄附金(ふるさと納税)

北九州市出身の皆様、ゆかりのある皆様、北九州市を応援してくださる皆様の思いを、北九州市のさらなる発展に向けて活用させていただきます。応援よろしくお願いたします。



「東京と福岡」の著作権は「東京福岡県人会」または「原著者」に帰属します。無断複写転載を厳禁します。
 「東京と福岡」についての意見は事務局まで。
 E-mail: info@fukuoka-kenjinkai.jp

〈表紙題字 緒方竹虎筆〉

グラマラスな印刷デザインが webの世界に息吹く

私たちはただ印刷物を作りたいのではありません。何ができるの？と、問われれば真っ先にスマートフォンへ思いを馳せます。スマートフォン視聴を前提とした短尺動画と、専用LPを広告フォーマットにし、AR技術と組み合わせることで新しいUXを提供する商品を開発しました。魅力的なプリントメディアが、美的質感をそのままに、「動画」「web」コンテンツへと一気に拡張します。



品質も、価格も、叶う家。

「日本の家は高すぎる」。その思いから家づくりにかかるコストを徹底的に削減することで、「高品質・適正価格」を追求してきました。

家の価格が下がれば、好きなことにお金が使えて、生活はもっと豊かになる。

長く快適に住める品質と、手に届きやすい価格を通じて、

住む人の人生をずっと支えていきたい、私たちはそう考えました。

建てて終わりではなく、建てたあとの幸せまでもつくれる住宅会社を目指して。

タマホームはこれからも、より良い家をより安く提供するための挑戦を続けていきます。



＼ 全国の店舗にてモデルハウスの見学会を開催中 ／



ご希望日時に予約来場いただくと、QUOカードを進呈しております。
この機会に「良質低価格」のモデルハウスを是非ご体感ください。

見学会詳細は左記のQRコードよりご確認いただけます。

おかげさまで、2020年度・注文住宅新設着工棟数が、全国3位となりました。

また、宮崎県・佐賀県・長崎県・大分県・香川県・山梨県の6県内におきましては、それぞれ1位となりました。

●2020年4月1日～2021年3月31日における確認申請棟数および(都市計画区域外)工事届棟数の合計数(株式会社マーケティングシステムズ調べ)

TamaHome®

タマホーム株式会社

本社 / 〒108-0074 東京都港区高輪3丁目22-9 タマホーム本社ビル www.tamahome.jp
[建設業許可番号] 国土交通大臣許可(特-30) 第19013号(般-30) 第19013号 [宅建業免許番号] 国土交通大臣(4) 第6857号